

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：青森県 弘前市

◆コンセプト：「誰もが気軽に関わることができ、つながりができることによって活性化するまち」

市内で活動する市民活動団体や事業者・地域住民等と行政が協働により、居住地や世代を問わず、様々な人が交流し、自身のスキルや経験等を生かしながら地域で活躍できる持続性を持った仕組みを構築する。

<特徴>

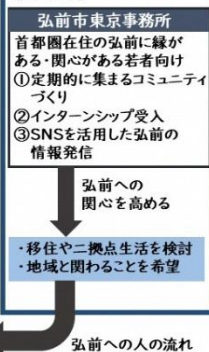
- 移住推進だけでなく、関係人口創出へ向けて取り組むことにより、地方への人の流れを創出
- 県外へ転出する前の学生に向け、地域志向醸成により将来的なUターン移住を意識づける取組を実施
- 市内で活躍する様々な団体等が事業に関わり、活動を顕在化することにより、多くの人自身の経験やスキル等を生かし地域で活躍できる仕組みを構築

《弘前市》

●弘前版生涯活躍のまち推進会議

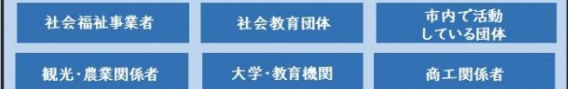


《都市部》



連携

●地域の関係団体等



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 市内で活動するまちづくり関係者と連携し、居住地や世代を問わず、自身の経験やスキルを活かしながら、地域で活躍でき、様々な人と交流できる場を創出
- 首都圏在住の弘前圏域出身者や、弘前に関心がある人のコミュニティを構築し、常に弘前に目を向ける機会を創出

【今後の展開】

- 事業主体と連携できる団体を掘り起こしながら、様々な人の交流機会や、自身の経験・スキル等を地域に還元できる機会を増やす
- 定期的に対面で交流できるイベントの実施やSNSでの情報発信等により、コミュニティを活性化させ、弘前と関わる人を増やす

「活躍・しごと」

※「交流・居場所」参照

【主な取組内容・進捗状況】

- 地方に関心がある県外在住の若者が地元企業等で兼業・副業を実施

【今後の展開】

- 兼業・副業として関わることができる地元企業・商店等を掘り起こすため、企業等に対し、周知を図る
- 県外在住者がしごとを通して弘前と関わる機会を創出する

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 介護予防や健康づくりの取組とともに、参加者同士が交流できる機会を創出
- 50歳以上を対象に、トレーニング器具を開放

【今後の展開】

- 運動や介護予防を通じた交流・活躍の場づくりを実施する
- 健康をテーマに、「コミュニティ・キッチン」等を活用しながら交流・活躍の場づくりを実施する

コミュニティへの人の流れ

- 地方に関心がある若者や移住に関心がある中高齢者が、伝統文化・伝統芸能などの当市の資源や、当市で行われている様々な活動を通して、地域や地域住民と関わることで、継続的に当市と関わる「関係人口」の創出を図る

その他特徴的な取組

- 大学・高校等と連携し、高校生が地域に関わる機会の創出や、大学生が企業・商店等の経営課題に取り組むことで、地域で人材を育て、地域に還元される仕組みを構築する

基礎データ

・人口：159,675人（R6.4月時点）

・R4.3 地域再生計画認定

（「誰もがつながり活躍できるまちづくりプロジェクト」）

R4.4から地方創生推進交付金を活用し、「関係人口創出事業」や、「地域をフィールドにしたひとつづくり事業」、「首都圏における若者コミュニティづくり事業」、「交流・活躍の場創出事業」を実施。